車椅子カルタで親交

岐阜市 障害者や小学生120人熱戦

車椅子に乗ってかるた取りを楽しむ「第28回大カルタ取り大会」（岐阜新聞・ぎふチャン後援）が27日、岐阜市金町の市文化センターで開かれ、障害者と健常者が競技を通して交流を深めた。（大賀由貴子）

車椅子を操り、かるた取りを楽しむ参加者たち＝岐阜市金町、市文化センター

就労支援施設の運営などを行うNPO法人「障害者自立センターつっかいぼう」（岐阜市）が、毎年開催している。障害者が抱える問題や人とのつながりなどをテーマにした歌を公募し、歌にちなんだ絵を描いた1㍍四方の大きな絵札44枚を準備した。

県内の大学生や高校生が車椅子の介助や司会進行などを務め、小学生から60代まで約120人が参加した。競技は手動・電動車椅子が参加する自走車椅子部門、手動のみの手動車椅子部門、介護付き車椅子部門の3部門で、団体戦も行われた。

床に絵札が広げられ、「ふと気づく　私の周り（まわ）　一段だらけ」「カルタの絵　絵本にしたいいつまでも　消さずに残す　仲間の思い」などの歌が詠み上げられた。出場者は車椅子を操り、いち早く目当ての絵札の上へと走らせていた。